教育目標：「自ら学び　心豊かで　たくましく生きる児童の育成」
大道っ子像：　◎よく考え 進んで学ぶ子(知)
◎明るく 思いやりのある子(心)
◎ねばり強く たくましい子(体)

R３年3月8日

第15号

大道小学校 学校だより

絆

文責
大道小学校
校長
大城美千代
TEL917-3308
FAX917-3348

和

「希望」を胸に抱いて

校庭に満開のベゴニア、インパチェンス、ペチュニア等の色とりどりの花々、立ち枯れにも似た樹木の枝に小さな根っこ、そこから芽が目立つようになってきました。よく観察してみるこれぞれの枝が一斉ではなく、高い位置の枝から徐々に飛び交う小鳥たちの動きそのものも、実にはっきりとしてきました。自然界の営みは、確かな鼓動とさりげない優しさをもって「春」を呼び寄せているのでしょうか・・・。

学校教育にとって、「春」は実にドラマチックな時期なのです。子ども、教師を含め「別れと出逢い」の季節です。そこには、人間として生涯にわたり体験し続けるべき「喜怒哀楽」が濃縮され、涙と感動と希望がみなぎっています。

人間の本当の姿があふれているともいえるでしょう。

さて本校では、三月二十四日に卒業式が執り行われます。他の学年の子どもたちはそれぞれ進級します。その意味では、必死に頑張る子どもの姿なのです。

なにかは拍手を送りながら、親子共々、新たな歳月人生を出発がでるようにしたいものです。

「旅立ち」は、その成長に感動しながら、親子共々、新たな歳月人生を出発がでるようにしたいものです。

「赴任」を待たず、早二カ年の月日が流れようとしています。その間に、子どもたちが主役の学校経営・運営を心がけ、且つ、暖かく思いやりのある「心の居場所」としての学校を創造してきました。

また、那覇市の中心にある恵まれた教育環境、支援を頂いた学校評議員、地域の方々、思い起こせば際限ないほど多くの方々に支えられて仕事をさせて頂きました。衷心より感謝申し上げます。

さらに、子どものあらゆる場面において積極的な協力・支援を頂いた保護者の皆様には常々頭の下がる思いであり、心より御礼申し上げるとともに「向き合う・語り合う」学校づくりへの協力を尚一層お願い致します。

結びに、今年度、コロナ禍の中でも明るく元気で伸びやかな児童に囲まれて過ごした日々は貴重な宝です。一刻も早くコロナウイルスが終息に向かい、充実した教育活動が行えるように「希望」を忘れずに持ち続けたいと思います。

心暖まる「卒業を祝う会」

三月五日(金)三校時、「卒業を祝う会」を開催しました。コロナ禍の感染防止のため、webーmeeting会議を活用しました。

一年生から五年生は、事前に動画を作成して本番を迎えました。お世話になった六年生への感謝の気持ちを込めて、何日も何日もかけて準備を進めてきました。

動画には、それぞれの学年の個性が良く表れていました。六年生との別れの悲しさやさみしさや新たな門出を祝う、内容がぎゅっと詰まった動画です。

新しい生活様式を徹底しつつ、心のこもった下級生からのプレゼントは、六年生の心を大きく揺さぶったようです。

卒業生の皆さん、新たな道に飛び出しましょう。大道小学校を卒業するという自信と誇りを持って下さい。私たち大道小学校の先生方や下級生は、いつも皆さんを応援しています。

「卒業式」

三月二四日は卒業式。大道小学校から四十一名の児童が暖かい励ましの言葉を受けて巣立ちます。卒業生は、六年間、お世話になった先生方や、命がけで育てて下さった保護者のお祝い話や激励の言葉を受けます。中学校生活への期待がかけられます。

卒業生は、未知なる中学校生活への大きな希望と、中学校でしっかりと頑張ろうという決意を抱いて巣立ちます。

卒業式の朝。滴(しずく)にぬれた草木の葉に春の光がキラキラ踊ります。巣立つ日、それは小学校生活との別れ。過去から未来に飛び立とうとする一瞬。卒業生一人一人のほおがキリッと引き締まり、美しく瞳が光り、濡れることでしょう。みんな、みんなこれから始まる人生の節目と旅立ちの決意を、心を一つにして一瞬に込める、その心が一つになって見事な卒業式を創り上げます。晴れやかで厳粛なオーケストラを奏でます。保護者も先生方も心の底から褒め称えることでしょう。「素晴らし卒業式だった」「実りのある、見事な旅立ちだった」と。

在校生の皆さん、真剣に生きるということはこういう潔さの生かから学んだことを豊かに育てて下さい。